#### アレルギーとは?

- → 人間や動物の免疫機構は、有害な異物を破壊するように作られています。
- → 『アレルギー』とは、外部からの無害なタンパク質に対する過剰免疫反応です。
- → アレルゲン(原因因子)の吸入、皮膚や粘膜との接触によりアレルギー反応が起こります。

### 主なアレルゲン

- → 吸入性:ほこり、ダニ、花粉、ペットの毛やフケなど
- → 食物性:卵、牛乳、大豆、ソバ、米、小麦、畜肉、魚肉、薬品類など
- → 接触性:うるし、装身具の金属、化粧品類など

## アレルギーによって起こる代表的な症状

- → 気管支ぜん息
- → アレルギー性鼻炎
- → アレルギー性結膜炎
- → アトピー性皮膚炎
- → じんましん(蕁麻疹)





アレルゲン拡散防止策 >>>ケージ交換ステーション >>>床敷廃棄ステーション



# 動物の被毛や排泄物に起因するアレルギーについて

「アニマルマネジメント 動物管理・実験技術と最新ガイドラインの運用」 より

監修:大和田一雄先生 著:笠井一弘先生

飼育室に入ることにより、くしゃみが出たり涙が出たりする場合は、動物アレルギーが疑われる。

従来実験動物飼育施設では、動物の健康が第一とされ、設備、運営方法に種々の工夫がされ飼育管理業務が実施されている。

しかし、実験動物関係の業務についている人の約23%強が動物アレルギーの症状を呈するという調査 結果がある。

また、動物の尿、被毛など動物由来のアレルゲンへの接触や吸引が原因となるものには、手袋やマスクは有効であるが万全ではない。はたして、効果的なアレルゲン対策はどこにあるのか?



## [床敷きの粉塵吸引に起因する呼吸器症状]

飼育室でのケージ交換、洗浄室でのケージ内の使用済み床敷処理、ケージへの新しい床敷充填作業において、作業者は舞い上がる床敷微粒子を吸引する。このことにより呼吸器への健康障害の可能性がある。

予防のためには、微粒子の捕捉に効果のあるマスクの着用が有効であるが、効果の高いものは息苦しさがあり、使用者は嫌う傾向がある。床敷交換用ラック、床敷廃棄ステーションなど、床敷から舞い上がる微粒子を吸引するタイプの設備の利用が効果的であるという報告もある。



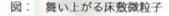




図: 粉塵吸引対策例